のある勝山へ

⊭Web

の3か年、

市では、

平成16年度から18年度まで 実施計画に沿って進行の管

市民の皆さんへ公表

画の進行状況を

理を行った結果、

子育て支援策やまち

図2のとおり進行管理を行い、

実効性

今回、

改定した実施計画についても、

のある計画の推進を図っていくととも

じて市民の皆さんへ公表します。

広報かつやまやホ

ペ

ージを通

ら11億円の経費削減を実現しまし

づくり交付金事業を積極的に進めなが

された「勝山市行財政改革実施計画」を平成20年4月に改定しました。 市では、平成16年2月に策定された「勝山市行財政改革大綱」にもとづき、同年8月に策定 当初の計画から3年を経た社会経済状況の変化や、新たな住民ニーズに

対応することを基本方針としています。今後は平成24年度の計画最終年度までに目標が達成さ れるよう計画の進み具合をしっかりと管理し、夢のある勝山の実現に向け取り組んでいきます。 改定にあたっては、

図1 改定のポイント 勝山市行財政改革実施計画 (平成16年8月策定) 達成した項目などの削除 項目の修正、追加 勝山市行財政改革実施計画 (平成20年4月**改定**) I. 年次目標または数値目標を設定して管理する項目……17項目 (市税などの収納率向上、滞納額の削減など) Ⅱ. 政策基本目標で各部において管理する項目……46項目 (エコミュージアムの推進、公共交通体系の整備など) Ⅲ、長期的展望に立ち研究する政策課題 (人口減少や日常生活圏の拡大に対応した政策研究)

数値目標を示し、

改定後の計画では、図ーに示すように 当初の目的を達成した項目や、 民のニーズに対応することを基本方針 する政策課題」では、 管理および研究をすることとしました。 3つのグル ズの変化に合わない項目については、 の社会経済状況の変化および住民ニー としています。また、平成16年度計画 本計画から削除しました。その結果、 って社会経済状況の変化や、新たな住 なお、 改定にあたっては、大綱の趣旨に沿 $\overline{\mathbb{I}}$ ープに分けて、 長期的展望に立ち研究 人口減少や日常 計画の進行 その後

指すさまざまな政策課題に取り組んで 役所内部に設置し、夢のある勝山を目 める 勝山のあり方について研究・分析を進 生活圏の広がりに対応したこれからの

よりわかりやすく

山口敏光、 俊一、新町=村井英之、 一夫、上森川=立平定勝、下森川=松 ◎西妙金島=島田典幸、 松太郎、 北郷地区 坂東島=松村健剛、 ○東野 = 秦祥司、 志比原= 檜曽谷=津田 伊知地= 上野 小林

木下光夫

鹿谷地区

出村=岩見壽信 志田=吉田一、 ◎東遅羽□=竹内修、杉俣=中廣善一、 本郷 = 山内昇、 北西俣=千葉治雄、矢戸口=森下清二、 ○保田=松名昭一、西光寺= 発坂=嶋田清栄、 西遅羽口=飯田靖、 山口正男、 保田

田武志、 村嘉雄、 平信夫、

☆沢町=久保憲司、 ☆下長渕=笠松徹、

芳野町=

北谷地区

中尾=石井清示、北六呂師=結川孝之

木根橋=田中繁康、 谷=出水一三、

富田=織

山川肇彦

上勝夫、

☆上後=秦弘志、

下後=榮喜一郎、

上長渕=木 ○中後=杉

○長山町=竹内健一

○寺尾=齋藤彦生、浄土寺=

、浄土寺=木下一美、

神谷=山岸晋作、

甚義、立川町=中野栄、 旭町2=四谷憲夫、 3=中村重元、○旭町1

上郡 = 早川常

五本寺=西野學、黒原=前田二蔵、

栃

◎滝波町=笠川剛士、郡町=嶋田洸石:

☆旭毛屋町=山岸

=村上忠義、

村岡地区

上袋田=中村鉚也、☆下袋田=渕

下良夫、昭和町2=山場正之、昭和町

◎元町3=和田雅弘、☆昭和町-☆元禄=飯田章、元町2=

森

野=市原勝、池ケ原=山田ひさ子

上山邦夫、

司

神野=沢栄治、

経塚=藪繁光、

上

○大矢谷=永井六充、

小矢谷=松本忠

勝山地区

11

成20年度の区長さん

橋渡し役としてご活躍いただきます。

◎地区区長会長、

○地区区長会副会長、

☆地区区長会理事

(敬称略)

波=皿澤賢一、 名=森石輝一、 口=下牧紘一、 原=袖川泰夫、

妙金島=齋藤治一、

中清水=野地税、 北宮地=田中和弘、

◎伊

堀

○新保=矢戸甚一、松ケ崎=前田信夫

安全で安心なまちづくりを目指し、

行政と地区住民の

毛屋=三屋晃、 雄、高島=

加藤敏彦、

片瀬町=境孝行、 猪野=上山弥一、

岡横 ◎ 片

◎竜谷=北川泉、

野向地区

○猪野□=藤木耕読、

若猪野=

野村義

山=織田清三 ○小原=杉吉政己、 ◎河合=斎藤邦夫、

林正次、西高島=京道三郎:

猪野瀬地区

江=鳥山忠信

中島= 大袋= 北山=斎藤甚三郎、 :伊藤廣忠、 牧野保夫、 Ш ○新道=酒井啓善: 千代田= ◎蓬生= 藤原広幸 斎藤清昭、

壁郎

倉

福田歳博、

岩ケ野=

森 成·

松田=

木下立夫、田名部=

·丹後政雄

25 88

6

◎平泉寺=武内盛直、赤尾=

平泉寺地区

笹尾=北山眞夫、大渡=

山内正博

荒土地区

福田耕太

北野津又=松井敬、

横倉=北川雅敏

師神谷=石塚善榮、牛ケ谷=

清水嘉夫

!=藤井由紀夫、深谷=

知土光、 内田東市、

> 下荒井=斎藤慎治、 遅羽地区 嵭崎 :澤田昌紀、

〈受診券見本〉 されます。

加入者へも、 (後期高齢者医療) 同様の受診券が送付 制度

図2 市 民 総務課(☎88 勝山市総合行政審議会 広報かつやま 広・ホームページ 外部評価の実施 I. 年次·数値目標の達成状況で進行を管理 6 Ⅱ. 市長が政策ヒアリングにより進行を管理 政策ヒアリングで政策研究の進捗状況を報告 ╙.「長期ビジョン政策研究会」による分析・研究

「長期ビジョン政策研究会」を市

特定健診が 開始されます

新在家=木下広己、

要になります。 時には「受診券」と「保険証」 を5月下旬までに送付します。 せて左記の「特定健康診査受診券」 険加入の皆様には、 40歳~74歳のかたで、 がん検診とあわ 国民健康保 が必

複受診となりますので、 ただし、人間ドック申込者へ 送付しませ は重

受診券も送付されませんので、 者は申し込みが必要になります。 また、5月以降の国保加入者への

D券の交付を受けたときは、すぐに、下記の住所機にご白竜

広報かつやま5月号 No.641 5 広報かつやま5月号 No.641 4